

平成 29 年第 4 回山田町議会定例会

一般質問通告の要旨

一般質問は、12 月 12 日（火）に順位 1 ～ 5 番を、13 日（水）に 6 ～ 9 番を行う予定です。

順位	質問者	質問事項	質 問 要 旨
1	9 番 阿部 吉衛	1 オランダ島について	オランダ島の復旧工事の進捗状況は。どのように進められているか答えていただきたい。
		2 商工観光について	ことしの山田祭りは台風 18 号の影響による避難勧告が発令され、祭りができる状況ではなかった。今後は町、商工会、各神社の責任役員と協議の場を持ち、開催基準を考えるべきではないか。
		3 災害公営住宅について	北浜の災害公営住宅の擁壁の曲り及び地盤沈下の補修工事は進んでいるのか。また、県の対応は。
		4 防潮堤について	防潮堤の亀裂の補修工事が行われたが、地震や津波に耐えられるような施工方法であったか。
		5 北浜船揚場について	北浜船揚場が急勾配のために船を揚げることに難儀をしている。特に高齢の漁師の方々である。国や県に改良をお願いできないか。
		6 指定管理者制度について	復興事業も順調に進んでいるようだが、今後は復興後の行政の方向性として各事業の効率化が重要と考える。そこで伺う。将来的に指定管理者制度に移行すべきと思う事業があれば示せ。

順位	質問者	質問事項	質 問 要 旨
2	13 番 吉川 淑子	1 いじめについて	岩手県内では昨年度、小中学校、高校等でいじめ5,750件と調査を始めてから最も多くなった。こうした中、教育関係者など会議を開き、対策などについて意見を交わし、その中でカウンセラーを設置するなど相談体制を進めている。 近年、ツイッター等の使用による痛ましい事件が起きているが、山田町においていじめについての実態はどうであるのか伺う。また、教育的立場から、小中学生等若い人たちにSNSの使用の危険性や注意指導に取り組むべきと考えるが。
		2 荒川土地改良について	荒川地区の白山から荒川小学校（金塚）までは通学路であり自動車が交差するときなど子どもたちにとって大変危険な道となっている。荒川土地改良区の圃場整備について10月に全体の説明会があり、通学路である白山から金塚までの道路拡幅について住民から強い要望が上がったが、町としてこの要望を受け今後事業計画の変更等について協議する必要があると思うがどうか。
		3 透析治療患者の通院について	透析治療は定期的に治療が必要不可欠である。その家族が通院に対応できる場合は良いのであるが、タクシー等で通院治療する患者は生活が困窮すると嘆いている。透析治療している方が通院するために何か支援が必要と思うがどうか。

順位	質問者	質問事項	質 問 要 旨
2	13 番 吉川 淑子	4 荒川地区白山集会所について	荒川羽々の下地区の県道の変更工事によって、白山に新たな集会所の建設が現在進められている。建設用地の地権者のご理解と関係者の努力にまずもって敬意を表するものである。そこで伺う。いつから供用開始となるか、事業計画を詳しく示せ。
		5 交通安全について	山田町交通指導員は、交通安全活動の推進役として第一線で活動している。現在、制度運営上、課題となっている点は何か。
3	12 番 山崎 泰昌	1 復興事業について	(1) インフラ面の復興事業は最終段階に入ったと考えているが、新たに山林を切り開いた地域の雨水排水や既存の排水路等の整備は十分に対応しているか。 (2) 県が施工する事業が遅れているように見えるが、町の認識は。それに付随する町の施工事業に影響はないか。 (3) 災害復旧の事業では原形復旧を主眼に施工してきたが、現状でも改良すべき点があると考え。中、長期的に生業の再生、町民の所得向上、福祉の向上を促進するためには現在ある町有施設や町道等の整備、改良も考えなければならないと考えるが町の見解は。 (4) 地域商社構想は個人的には大賛成である。しかし、役場内、町内での基本的な立ち位置が今まで説明されていない。説明を求める。

順位	質問者	質問事項	質 問 要 旨
3	12 番 山崎 泰昌	2 教育行政について	(1) 小学校の「あり方」について、住民と話を進めるとのことだが、進んでいるのか。 (2) 海浜授業など震災前まで行っていた授業は全て復活したのか。 (3) 震災前、統合は避けては通れない事案との町の見解だったが、現在は。また、フラッシュバックが心配で統合の事案は進めないと以前の答弁であったが、現在の状況は。 (4) 教育現場において、以前は授業の妨げになる児童生徒がいたようだが、現在はどうか。
4	8 番 関 清貴	1 産業振興について	復興事業もハード面は完成しつつあり、国・県においても生業の再生に移ってきたようである。被災した商工業者の生活の糧を得る場となっている仮設事業所の退去期限が来年の7月と聞いているが、そこで次のことを伺う。 (1) 町では復興のシンボルとなるような商業施設の整備を行い、商売を続けたい方や起業を志す方のためのまちづくりを進める考えはないか。 (2) 本年第1回定例会の答弁で、被災事業者のうち方針が決まっていないう業者がいるということであったが、その数に変わりはないか。 (3) 国道45号沿いの土地貸付の募集を行っているが、今までに何件及びどのくらいの面積が貸し付けられたのか。また、どのような条件を付して転貸できるのか。

順位	質問者	質問事項	質 問 要 旨
4	8 番 関 清 貴	2 教育環境について	教育を取り巻く環境は、東日本大震災による人口の減少や少子化による児童生徒数の減少という顕著な問題を投げかけられている。そこで次のことを伺う。 (1) 県立山田高校の生徒数が募集定員を下回る状況にあるが、町として学校存続への対応策を考えているか。 (2) 町内小中学校の教職員の勤務実態について、適正な管理状況のもとに健康管理は図られているか。
		3 スポーツ施設整備について	(1) ラグビー・サッカー場の改修工事は順調に進んでいるが、利用する方々の声に耳を傾けるとともに維持経費が軽減されるような施設となるように整備を図ったか。 (2) 運動公園のテニスコートについては整備されてから 20 年以上が経過している。震災時においては支援車両等が出入りするなど想定外の利用もあった。経年劣化も進んでいると思うが改修をする予定はないか。

順位	質問者	質問事項	質 問 要 旨
4	8 番 関 清 貴	4 交通安全について	(1) オール周辺の交差点は混雑すると大変危険で、車の利用者や歩行者から横断歩道や信号機の設置を望む声が多く聞かれるが対応策を考えているか。また、日が短くなり長崎方面に買い物等から帰る方々は足元が暗く、転倒や交通事故の危険性があるが、照明灯の設置は考えられないか。 (2) 先ごろの台風で役場前の道路が冠水し、通行できないときに関谷方面から来た方が龍昌寺前も一方通行のため通れなかったという苦情を聞いたが、対面通行ができるようにして災害時等の道路網を確保する考えはないか。
		5 私道等整備事業について	東日本大震災で家屋を失った方々の中には、自力で住居を確保した方々もいる。町道に接続していないところに住居を構え、道路の舗装を私道等整備事業の活用により計画している方もいると思うが、そこで次のことを伺う。 (1) 私道整備の補助率 50%を補助金交付要綱制定時の補助率に戻す考えはないか。 (2) 今以上に多くの町民に対し、事業の周知を図る考えはないか。

順位	質問者	質問事項	質 問 要 旨
5	7 番 尾形 英明	1 県に要望している事項の進捗状況と実現に向けた取り組みについて	29 年 8 月 23 日に岩手県に対し、28 年度と同じ事項の 4 件を要望しましたが、その事項の現在の進捗状況と実現するため、町の取り組み、対策はどのような働きをしているのか、お伺いします。
		2 介護保険制度について	第 7 期介護保険事業の策定期間になっております。そのため策定委員会を立ち上げました。この策定委員のあり方と選考基準について、お伺いします。
6	11 番 菊地 光明	1 交通対策について	(1) 山田宮古間の高規格道路が開通して大変喜ばしいが、実際に車で走行してみて感じたことは、豊間根インターが山田側だけのハーフインターであることの問題である。これでは災害時等を始め交通手段として不便である。今後正規インターにする活動をすべきであると考えているかどうか。 (2) 近年高齢者による事故が多発しているが、対策として高齢者が運転免許証を自主返納しやすい環境整備が必要と考える。バス料金の補助など町独自の特典を考える計画はないか。
		2 復興工事について	県は 11 月 7 日復旧・復興のロードマップを発表した。完成時期が遅れる整備箇所は新たに 70 カ所であるようだが、当町は何事業で何カ所が該当しているのか。遅れている理由を含め詳しく示せ。また、県の遅れと関連して当町の事業に影響を与える事業はないのか示せ。町独自の事業についても遅れている事業がないのか。ある場合、事業名と遅れる理由を示せ。

順位	質問者	質問事項	質 問 要 旨
6	11 番 菊地 光明	3 災害公営住宅の有効利用について	災害公営住宅の空き室状態とそれに伴う有効利用計画について示せ。現在、町内小中学校の教員の人数と、そのうち町外から通勤している教員の人数を示せ。
		4 鈴木善幸記念館の整備について	震災により凍結している鈴木善幸記念館について、今後の整備方針について詳細に示せ。また、埋蔵文化財の展示施設についても同様に示せ。
		5 集会所について	集会所の復旧工事も順調に進んでいるようだが、そこで何う。小谷鳥地区の集会所建設計画について詳しく示せ。
7	6 番 木村 洋子	1 給付型奨学金の拡充について	今年度より創設された給付型の奨学金が町民に喜ばれている。応募の状況はどうだったか。震災後、ひとり親世帯が増えており、経済的に困窮した状況があるのではと推測する。ひとり親世帯や様々な事情により経済的な問題を抱えている世帯にとって、給付型の奨学金はまさに朗報である。町の宝である子どもたちが経済的理由で進学を断念することのないように、できるだけ多くの子どもたちに行き渡るよう同事業の拡充を考えるべきではないか。

順位	質問者	質問事項	質 問 要 旨
7	6 番 木村 洋子	2 山田北 I C の整備改善に ついて	三陸沿岸道路山田宮古道路が 11 月 19 日開通した。待ちに待った立派な道路ではあるが、豊間根の住民にとって手放しで喜べない状況がある。豊間根にある山田北 I C はハーフの I C で釜石方面への出口、入り口はあるが宮古方面への出口、入り口がないのである。開通の初日に宮古からこの道路を利用した住民は「きれいで良いが豊間根で降りられないのでは利用価値がない。」という感想だ。通勤にも使えない状況を町はどう考えているのか。震災時、豊間根は被災者の受け入れや支援活動に尽力した地域であり、現在は、災害公営住宅が建設され被災者の受け入れや支援活動に尽力した地域であり、現在は災害公営住宅が建設され、被災者の多くが移り住み自立再建が進んでいる。復興道路は全国から被災地を支援し、復興を後押しするものでなければならないのに、これでは豊間根は復興から取り残された感がある。復興道路として、本来の災害時の備えとしての役割発揮と利便性を向上させ、多くの住民に利用される道路にするため、山田北 I C のフル I C 化を早期に実現すべきである。町の考えを問う。

順位	質問者	質問事項	質 問 要 旨
7	6 番 木村 洋子	3 透析を受けている患者の通院負担の軽減について	透析を受けている患者は2日に1回透析を受けなければならない、月に約14回の通院を余儀なくされている。そのため通院の足の確保と交通費が大きな負担となっている。当町は地域により公共交通が充実していない所もあり、また、体調の変化や感染予防のためタクシーを利用しなければならない実情がある。障がい者手帳によるタクシー料金の一部負担免除はあるが、とても賄い切れるものではない。透析を受けている患者の自宅療養を支えるため、通院時の足の確保や交通費の軽減策を考えるべきである。町の考えを伺う。
		4 山田型復興住宅について	現在、山田型復興住宅で家建てようとする設計変更がなくてもプランの値段より高くなると聞くが、実情はどうなっているのか。はね上がった価格のため、家を建てるのを諦めた被災者も出ているようだが、町としての対応は。
		5 漁業の復興について	3.11の大津波で本町の漁業は甚大な被害を受けたが、全国からの支援を受け、復興が徐々に進んでいる。特に養殖漁業に関しては手厚い支援を受け、順調にきているようだが、採貝藻漁業は支援が手薄で復興が順調にきているとはいえない状況があると聞く。町としてどう把握しているか。対応を問う。
8	5 番 田老 賢也	1 産前産後ケアについて	今年度から子育て世代包括支援センターが立ち上がり、町として子育て世代へのサポートを充実させていく意思が示されたことは、町の将来のためにも喜ばしい。子育て支援事業のうち、特に産前産後ケアについて今後充実させていくべきであると思うが、町の見解は。

順位	質問者	質問事項	質 問 要 旨
8	5 番 田老 賢也	2 通院等のための交通運行について	復興に伴い仮設住宅からの退去が進み、新規道路や山田病院などが完成したことで、交通に対するニーズが変化してきた。また、6月定例会で取り上げたとおり、山田病院の訪問診療が見直しされており、交通面で新しいサポートが求められる。町は患者輸送バスの運行等を行っているが、仮設住宅の撤去に伴う路線等の見直しも必要となる中、町として今後どのような交通体制及び交通支援を検討していくのか。
		3 いじめの相談体制について	S N S を使った目に見えないいじめが社会問題となっているが、逆にいじめの相談窓口として S N S を用いる考えはないか問う。
9	1 番 阿部 幸一	1 仮設店舗について	中小機構が整備した仮設店舗等が山田町に移管されている。これからは仮設店舗から本設店舗に移設する時期にきている。そこで何う。現在の仮設店舗の今後の取り扱いはどうなるのか。
		2 固定資産税について	震災から6年8カ月が経過して現在漁業者を始め全ての商店主等は自分自身の復興に向けて頑張っているが、現状の漁業不振状態を見た場合、復興に向けて進むには厳しいものがある。そこで何う。現行の固定資産税の軽減措置を継続して、復興の背中を押してはどうか。
		3 町税について	2018年度の町税の見通しはどうか説明せよ。
		4 町の前進について	サケ、イカの不漁が続いているが、町では経済政策など考えているか。目玉があるか。具体的に説明せよ。